

大会まであと2ヶ月 2006年日本平和大会成功のよびかけ

憲法改悪掲げる安倍政権の下、憲法・教育基本法改悪反対、米軍基地の再編強化反対などの草の根の運動を広げ、全国から多数の代表を送り出しましょう！

2006年10月4日 2006年日本平和大会実行委員会

全国の平和を愛するみなさん。

日米軍事同盟打破、基地撤去 2006年日本平和大会 in 岩国・広島 (12月8日～10日、国際シンポジウムは7,8日)があと2ヶ月に迫ってきました。

5年以内の憲法改悪」を掲げる安倍新政権の発足の下で、この日本平和大会に向けて草の根からの平和のとりくみの輪を広げ、大会を大きく成功させることが、いよいよ重要になっています。

安倍新政権は、侵略戦争無反省の立場をあらわにしています。また、名文改悪をめざすと共に、その前にも憲法解釈を変えて「集団的自衛権」が行使できるようにしようとしています。これは、日米軍事同盟を世界規模で拡大強化し、アメリカの戦争に日本が世界中で参戦できるようにするためのものです。そしてそのために、米軍基地の再編強化をこり押し、自衛隊の海外派兵体制を強化しようとしています。この下で開始された臨時国会では、教育の国家統制を強める教育基本法改悪や海外派兵を自衛隊の主任務にする防衛省昇格法、共謀罪など諸悪法の制定がねらわれています。

しかし、安倍政権の足場はきわめて弱いものです。すでにその露骨なタカ派路線への厳しい批判の声が国内外に広がっています。侵略戦争無反省の立場に対しては、アジアだけでなく米議会や政府内からも公然と批判の声があげられています。憲法や教育基本法の改悪に反対する共同も全国に広がっています。社会的格差を拡大し、暮らしを犠牲にする「構造改革」路線を継承しながら、米軍基地強化に数兆円の血税を投入することに対しても、大きな怒りが広がっています。

安倍政権が「血を流す貢献」をしようとしているブッシュ政権は、世界中でますます孤立を深めています。非同盟諸国首脳会議や国連総会でも、アメリカのイラク戦争や無法な覇権主義に対する批判の声が相次ぎ、核兵器廃絶と国連憲章にもとづく平和秩序を求める声は、世界の趨勢となっています。

米軍基地の再編強化に対しては、全国各地で自治体・住民ぐるみの反対運動が力強く展開されています。沖縄では、新米軍基地建設反対の立場で野党5党が結束し、県知事選挙が行なわれます。神奈川県・横須賀では、米原子力空母配備の是非を問う住民投票運動が開始されました。岩国基地への米空母艦載機移転をめくっても、岩国市長がひきつづき反対の立場を貫き、隣接する世界遺産・宮島のある廿日市市をはじめ、広島5市も反対運動をくり広げています。

06年日本平和大会は、沖縄県知事選挙の勝利、横須賀の住民投票運動の成功はじめ、米軍再編強化に反対する全国の運動を総結集する大会です。また、憲法・教育基本法改悪、戦争する国づくりめざす安倍政権への国民的批判を総結集し、一大政治戦の07年に向けた国民的運動を発展させる大会です。また、さらに、アメリカ、韓国、グアムの代表も参加し米軍基地強化に反対し、基地のない平和なアジアをめざす国際連帯を深める大会です。

この大会に、日本平和大会学習パンフレットも大活用し、草の根からの学習と運動を広げ、青年をはじめ多数の代表を送り出しましょう。そして、住民投票の勝利で運動を切り開く全国的たたかいの焦点・岩国に全国から集い、大いに学び、交流し、07年の平和運動の展望を切り開きましょう。